

H-ⅡBロケット3号機の 打上げ準備状況について

平成24年7月4日

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

＜説明者＞

宇宙航空研究開発機構

宇宙輸送ミッション本部

H-ⅡBプロジェクトチーム

プロジェクトマネージャ 宇治野 功

1. H-ⅡBロケット3号機の打上げ準備状況(1/3)

H-ⅡBロケット3号機の打上げに向けた射場整備作業および各系(打上執行系、飛行安全系、射場系、保安系、企画管理系)の準備状況について、報告する。

▶ 打上執行系

【機体系 射場整備作業】

- 平成24年3月16日より射場整備作業を開始した。
- 機体の機能点検を4月18日まで実施し、H-ⅡA・F21打上げのため一時休止。
- H-ⅡA・F21打上げ後5月21日より作業を再開し、機能が良好であることを確認した。
- 再開発アビオニクスに対する機体システム全体での確認として、電磁適合性(EMC)試験を5月29日から6月18日にかけて実施し、良好であることを確認した。
- 7月9日にフェアリングも含む機体の最終的な機能点検を完了予定。

【衛星フェアリング関連作業】

- 7月1日に宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV3)を衛星フェアリング内部へ収納する作業を実施した。
- 7月7日に衛星フェアリングを機体上部へ搭載する予定。

1. H-ⅡBロケット3号機の打上げ準備状況(2/3)

▶ 飛行安全系、射場系

○ 7月2日より飛行安全系、7月5日より射場系の打上げ準備作業を開始。

全ての飛行安全管理／射場管制用機器を組み合わせたシステム総合点検を7月18日に実施予定。

○ 打上げ当日の飛行安全管理／射場管制に係る事前準備を計画通り進めている。

なお、6月下旬の大雨により、内之浦宇宙空間観測所で土砂崩れ等が発生、打上げに使用する内之浦テレメータ、宮原レーダ設備の通信ケーブルが損傷した。7月12日までに通信ケーブルを仮復旧、打上げに使用できる見込み。

また、H-ⅡA・F21における試験運用後、H-ⅡB・F3から本運用する予定であった宮原レーダについては、H-ⅡA・F21による試験運用において、要確認事項が発生したため、H-ⅡB・F3においても宮原レーダを試験運用とし、H-ⅡB・F2同様、宇宙ヶ丘レーダを運用する。

▶ 保安系

○ 打上げ当日の陸上／海上警戒、事故等発生時に対する事前準備を計画通り進めている。

▶ 企画管理系

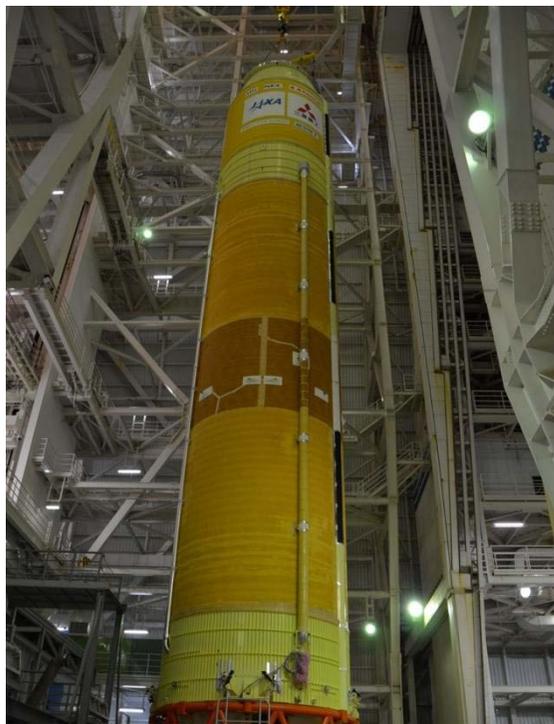
○ 打上げ及び第2段制御落下実験に係るノータム・水路通報の手続きを完了した。

○ 関係機関への通報・調整等、打上げに向けた事前準備を計画通り進めている。

1. H-II Bロケット3号機の打上げ準備状況(3/3)



機体島内輸送
(H24.3.17未明完了)



第1段起立
(H24.3.17完了)



第1段・第2段結合
(H24.3.18完了)



SRB-A結合
(H24.3.24完了)



HTVフェアリング収納
(H24.7.1完了)

2. 今後の予定

今後、以下の計画で最終的な準備状況を確認し、打上げに向けた発射整備作業を開始する。

- H-IIB・F3最終確認審査 : 7月15日
- 発射整備作業開始 : 7月16日
- 打上げ : 7月21日

打上げ予定日 : 平成24年7月21日(土)
打上げ予定時刻※1 : 午前11時18分頃(日本標準時)
打上げ予備期間※2 : 平成24年7月22日(日) ~ 平成24年8月31日(金)

※1 最新の国際宇宙ステーションの軌道により決定する。

※2 予備期間中の打上げ日および時刻については、国際宇宙ステーションの運用に関わる国際調整により決定する。

以上